

2021年度新収蔵資料の紹介 2

—阿部美知子氏寄贈資料ほか—

亀丸由紀子

目次 はじめに

- 1 阿部美知子氏寄贈資料
- 2 森香苗氏・伊藤悦子氏寄贈資料

Key Words アイヌ民族 (Ainu)、工芸品 (Folkcrafts)、木彫熊 (Bear woodcarvings)、刺繍 (Embroidery)

はじめに

本稿では、北海道博物館アイヌ民族文化研究センターが2020（令和2）年度末から2021（令和3）年11月末日までに受け入れた新収蔵資料のうち、民具に該当する15件15点について報告する。

同時に、資料の法量や製作者などの情報が一覧できるよう「表1 2021年新規登録資料一覧」並びに「資料図版（図1～7）」を添付したので、参照されたい。

1 阿部美知子氏寄贈資料

(1) 資料収集の経緯

寄贈者の阿部美知子氏によると、この木彫熊2点は、1960（昭和35）年12月頃、仙台の三越デパートまたは藤崎デパートにおいて初めて北海道展（物産展のようなものか）が開かれた際に、アイヌの文化を紹介するコーナーで阿部氏の祖父が購入したものである、とのこと。

この北海道展では、アイヌの男性が熊の彫刻実演を行っており、阿部氏の祖父はこれを大変興味深く思って毎日のように会場に通い、実演をしていた男性と親しく話しをしたこともあってか、最後にその男性の熊の彫刻の中で、一番優しい未だ子熊のようなあどけなさのあるこの彫刻を気に入り、同時に、製作者の男性からも勧められたため購入した、とのこと。その際、記念に日付と製作者のサインを彫ってもらったという。

木彫熊は、お土産品として流通したものが現在も数多く残されているが、いずれも製作者や年代等の基礎的情報が無いものが多い。そのため、本資料のように入手の背景が判明していて、かつ本州の物産展における実演販売の実態を知る手がかりとなるものは貴重である。加え

て、サイン等から製作者を特定できる可能性があるなど、より多くの関連情報が得られる可能性があり、収集意義は大きい。

以上の理由により、2020（令和2）年度第7回資料審査会（2020（令和2）年10月21日開催）で受け入れが承認された。資料番号は186544、186545である。

(2) 資料の特徴

<木彫熊・全身（186544、図1:1～4）>

1970年代頃より木彫熊の代表的なモチーフの一つとして用いられる、“鮭を喰えた熊”の構図が用いられている。熊には全身に黒色の塗りが施されており、鮭には表面のみに艶出し塗料が塗布されている。熊の左前足裏には「昭和三十五年 十二月十八日」という日付が彫られており、寄贈者の祖父が木彫熊を購入した日であることが推測される。また、右後ろ足の裏には「□□ アイヌ作」という製作者のものと思われる情報が刻まれている。

背中や足の内側、腹の一部に割れやひび割れが生じているものの、資料の状態は良好である。

<木彫熊・頭部（186545、図2:1～3）>

壁掛け用に製作されたもので、裏面には引っ掛け用の穴と、軽量化を目的とした削りがある。主に表面に黒色の塗料が塗られている。製作者に関する情報は付属していないが、彫りや塗料の具合から見て、木彫熊・全身と同一の製作者であると判断できる。

2 森香苗氏・伊藤悦子氏寄贈資料

(1) 資料収集の経緯

本資料群は、アイヌ工芸家の加藤シヅエ氏からの情報

提供によって当館へ寄贈されたものである。

寄贈者である森香苗氏と伊藤悦子氏の両名は、長年アイヌ刺繍や衣服の製作活動を行なっている人物であり、今回寄贈を受けた資料は、自身で製作したもの、またはゆかりの工芸家が製作した品を所有していたものなどである。

両氏寄贈の資料は、いずれも現代アイヌ工芸家によるアイヌ服飾資料の製作やその活動を示す物的証拠であり、そうした活動の記録や歴史を後世に伝える目的において極めて重要な意義を有する。また、資料の状態も比較的良好なものが多く、調査や展示など今後の博物館活動においても大いに活用が期待される。

これらの理由により、2020（令和2）年度第12回資料審査会（2021（令和3）年3月24日開催）で受け入れが承認された。資料番号は森氏寄贈資料が186546～186553、伊藤氏寄贈資料が186554～186558である。

（2）森香苗氏寄贈資料について

いずれも、博物館等が刊行した図録などを参照し森氏が製作したものや所有したものである。

<アイヌ刺繍付き樹皮衣（186546、図3:1～2）>

森氏によると、本資料の元となったシナノキの繊維を使用した反物は、次項の樹皮製反物（186547）と共に、支笏湖畔でアイヌ民芸品などの販売を行う民芸品店「大和」から譲り受けたものであるとのこと。袖口、襟、胸元、裾回り、背中には紺色無地の木綿布の切り伏せに青い糸で刺繍が施されている。

<樹皮製反物（186547、図3:3）>

シナノキの繊維を使用した樹皮製の反物。前述のアイヌ刺繍付き樹皮衣（186546）で使用した反物と共に、森氏が民芸品店「大和」から譲り受けたものである。

<アイヌ刺繍付き手甲（186548、図3:4～5）>

アイヌ文化の伝承者として知られる浦河タレ氏の資料を参考にして製作されたもの。紺地のピロード生地を使用し、手の甲側には刺繍、手のひら側の上部には刺子が施されている。

<アイヌ刺繍付き脚絆（186549、図4:1～2）>

静岡市立芹沢銈介美術館所蔵の脚絆（台帳No.B186）を参考にして製作されたもの。裏地にはベージュの木綿布を使用。上半部は、紺色無地の木綿布を切り伏せが施された麻糸製織り布の周りに紺色無地の木綿布が置かれ、上から青色の木綿糸でチェーンステッチの刺繍が施されている。下半部は、裏地と同一の木綿布を使用し、上か

ら青色の木綿糸で刺子が施されている。後部は縫い合わせて筒型となっている。

<アイヌ刺繍付き脚絆（186550、図4:3～4）>

静岡市立芹沢銈介美術館所蔵の脚絆（台帳No.B186）を参考にして製作されたもの。裏地には模様入りのベージュの木綿布を使用。上半部は、前述の脚絆（186549）と同様の構造であるが、麻布に相当する部分にはオヒョウ製樹皮布が使用されている。下半部は、模様の入った紺地の木綿古布の上に生成色の木綿糸で万時崩し紋様の刺子が施されている。後部は縫い合わせて筒型となっている。

<アイヌ刺繍付き頭巾（186551、図4:5）>

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園所蔵の頭巾（9467）を参考にして製作されたもの。紺地の木綿布に青地や模様の入った木綿布などで切り伏せし、白色の木綿糸で刺繍を施している。頭頂部には、房がつけられている。

<樺太アイヌ刺繍付き袖巻き（186552、図5:1～3）>

ロシア民族学博物館所蔵の資料を参考にして製作されたもの。赤色、白色、紺色無地の木綿布で構成された胴部の側面及び刺繍部分の周りを灰色の縮緬で縁取りし、胴部と刺繍部分の境にも水色と橙色の縮緬をテープ状に縫い付けている。刺繍部分は、紺色無地の木綿布で描かれた紋様の周りを黄色と橙色の木綿糸で縁取りしている。裏地は紺色無地の木綿布を使用。

<樺太アイヌ帽子（186553、図5:4～5）>

綿状の詰め物がされた木綿製の帽子。同様に詰め物がされた紐を頭頂部で釈迦結びにし、紐の端を四方に垂らすように縫い付けており、紐の先端部には小さなビーズの飾りが付けられている。

（3）伊藤悦子氏寄贈資料について

寄贈者の伊藤悦子氏によると、寄贈資料は、伊藤氏が長年、刺繍を教えてもらうなどして交流のあった、二風谷在住（当時）の工芸家として知られた長野チエ子氏などから譲り受けたものであるとのこと。

<編み袋（186554、図6:1～3）>

貝澤ハギ氏が製作したものを寄贈者が譲り受けたもの。シナノキの繊維を使用。側面の3箇所には、緑と深緑に染色したシナノキの繊維を用いた十字の模様がある。

<編み袋（186555、図6:4～6）>

長野チエ子氏が製作したものを寄贈者が譲り受けたもの。シナノキの繊維を使用。緑とオレンジに染めた繊維が織り込まれている。当館には、長野チエ子氏製作の編み袋などの資料が複数点所蔵されていることから、今後の研究でそれらと比較することで関連する情報が得られる可能性が高い。

<アイヌ刺繍付きはちまき (186556、図7:1) >

長野チエ子氏が製作したものを寄贈者が譲り受けたもの。紺色無地の木綿布に橙色、水色、緑色の木綿糸を用いたチェーンステッチの刺繍が施されている。

<アイヌ刺繍付きはちまき (186557、図7:2) >

長野チエ子氏が製作したものを寄贈者が譲り受けたもの。黒色無地の木綿布に緑色、白色、ピンクの木綿糸を用いたチェーンステッチの刺繍が施されている。

<アイヌ刺繍付きランチョンマット (186558、図7:3) >

藤原信子氏が製作したものを寄贈者が譲り受けたもの。藍染縦縞の木綿布に白色無地と柵の模様が入った赤色の木綿布の切り伏せがあり、その上から青色木綿糸を用いたコーチングステッチの刺繍が施されている。

謝辞

資料をご寄贈くださった阿部美知子氏、森香苗氏、伊藤悦子氏と、本稿をまとめるにあたりご教示を賜りました大坂拓氏、小川正人氏、加藤シズエ氏、古原敏弘氏（五十音順）の多大なご協力に感謝し、末筆ながら心よりお礼申し上げます。

参考文献

- 荒木繁・山崎幸治 2021. 札幌の木彫り熊. 博物館プロジェクト報告書. 北海道大学アイヌ先住民研究センター.
伊藤務 2005. 北海道の木彫り熊 浜田コレクション写真集. 「瑞楽洞」木彫り熊資料館.
萱野茂 1978. アイヌの民具. すずさわ書店.
北の手仕事2019実行委員会 2019. 北の手仕事2019展示会「誌上編」. 北の手仕事2019実行委員会.
田村すず子 1996. アイヌ語沙流方言辞典. 草風館.
東京903会 2019. 熊彫図鑑. プレコグ・スタジオ.
北海道開拓記念館 2011. 小嶋新三・慧子コレクション資料目録. 北海道開拓記念館一括資料目録第40集.
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園編 2008. 北大植物園資料目録6アイヌ民族資料.

表1 2021年新規登録資料一覧

収蔵番号	資料名	説明（※計測値は全て、タテ（長さor奥行）×ヨコ（幅）×高さ（厚み）の順）
186544	木彫熊	全身、鮭をくわえたもの、一木造り、26×42×23cm
186545	木彫熊	頭部のみ、壁掛け用、24×19.5×9.6cm
186546	アイヌ刺繍付き樹皮衣	シナノキの繊維を使用、129×131cm
186547	樹皮製反物	シナノキの繊維を使用、巾35cm
186548	アイヌ刺繍付き手甲	一対、①17×14cm、②17×14cm
186549	アイヌ刺繍付き脚絆	一対、縫い合わせて筒型にするタイプ、上半部に麻糸を織ったものを使用、①18×28cm、②17.5×28cm
186550	アイヌ刺繍付き脚絆	一対、縫い合わせて筒型にするタイプ、上半部にオヒョウの繊維を使用、①17×28cm、②17.5×27.8cm
186551	アイヌ刺繍付き頭巾	（飾りを含む場合63.5×）50×87cm
186552	樺太アイヌ刺繍付き袖巻	一対、①52.5×11.5cm、②53×11cm
186553	樺太アイヌ帽子	（ツバ展開時）35×31cm、（ツバ折り畳み時）29×32cm
186554	編み袋	シナノキの繊維を使用、33×38cm
186555	編み袋	シナノキの繊維を使用、23×19cm
186556	アイヌ刺繍付きはちまき	青地布に刺繍、8×112.5cm
186557	アイヌ刺繍付きはちまき	黒地布に刺繍、6×100cm
186558	アイヌ刺繍付きランチョンマット	36×53cm

製作年	製作地	製作者	図版番号	備考
1960年	仙台市	□□アイヌ	図1:1～4	足裏に製作年、製作者の情報あり
1960年頃	仙台市	□□アイヌか	図2:1～3	
2019～2020年	千歳市	森香苗	図3:1～2	
			図3:3	
～2019年	千歳市	森香苗	図3:4～5	
～2019年	千歳市	森香苗	図4:1～2	
～2019年	千歳市	森香苗	図4:3～4	
～2019年	千歳市	森香苗	図4:5	
～2019年	千歳市	森香苗	図5:1～3	
2019～2020年	千歳市	森香苗	図5:4～5	
1988年頃	平取町二風谷	貝澤ハギ	図6:1～3	寄贈者が付したタグ（「1988年 二風谷 貝澤ハギフチ」）あり。
1988年頃	平取町二風谷	長野チエ子	図6:4～6	寄贈者が付したタグ（「1988年 二風谷 長野ちゑ子フチ」）あり。
1987年頃	平取町二風谷	長野チエ子	図7:1	寄贈者が資料を保管していた袋に情報（「長野ちゑ子フチ マタンプシ 大きい方 1987年」）あり。
1988年頃	平取町二風谷	長野チエ子	図7:2	寄贈者が資料を保管していた袋に情報（「長野ちゑ子フチ マタンプシ 小さい方 1988年」）あり。
1999年頃		藤原信子	図7:3	寄贈者が資料を保管していた袋に情報（「藤原信子さん ランチョンマット 1999年秋」）あり。



1 資料番号 186544 (全身)



2 資料番号 186544 (足裏・腹部の様子)



3 資料番号 186544 (日付)



4 資料番号 186544 (製作者名)

図1 阿部美知子氏寄贈資料①



1 資料番号 186545 (正面)



2 資料番号 186545 (下側)



3 資料番号 186545 (裏面)

図2 阿部美知子氏寄贈資料②



1 資料番号 186546 (表)



2 資料番号 186546 (裏)



3 資料番号 186547



4 資料番号 186548 (表)



5 資料番号 186548 (裏)

図3 森香苗氏寄贈資料①



1 資料番号 186549



2 資料番号 186549 (上半部拡大)



3 資料番号 186550



4 資料番号 186550 (上半部拡大)



5 資料番号 186551

図4 森香苗氏寄贈資料②



1 資料番号 186552 (表)



2 資料番号 186552 (裏)



3 資料番号 186552 (刺繍部分拡大)



4 資料番号 186553 (正面)



5 資料番号 186553 (側面)

図5 森香苗氏寄贈資料③



1 資料番号 186554 (正面)



2 資料番号 186554 (側面)



3 資料番号 186554 (口縁部拡大)



4 資料番号 186555 (正面)



5 資料番号 186555 (側面)



6 資料番号 186555 (口縁部拡大)

図6 伊藤悦子氏寄贈資料①



1 資料番号 186556



2 資料番号 186557



3 資料番号 186558

図7 伊藤悦子氏寄贈資料②

Introduction of Objects Entering Museum Collection during 2021 Fiscal Year, Part 2:

Including Items Donated by Ms. ABE Michiko

KAMEMARU Yukiko

Of the objects which have been newly registered into the collection of the Hokkaido Museum Ainu Culture Research Center from the end of fiscal year 2020 (Reiwa year 2) to the end of November, 2021 (Reiwa year 3), this paper reports on 15 entries consisting of 15 objects.

The appended "2021 Newly Registered Object List" (Table 1) provides quick reference to illustra-

tions and information regarding the objects, such as dimensions and creators.

Folkcrafts such as bear woodcarvings and clothing decorated with Ainu embroidery compose the majority of the objects. Each holds considerable significance for purposes such as recording production and activities of contemporary Ainu craft artists, and passing on history to future generations.

